（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス　りとる・まむ

公表日　令和6年10月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・支援室内は、広くスペースを取り、子どもの活動に支障のないように整理整頓している。また、職員は室内では、走らないことを子どもに周知しながら支援に努めている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8		・人員配置基準を順守し、それ以上の職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		・子どもの目線に配慮しながら、情報伝達等が分かる位置に配置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・音楽リトミックやマット運動などで、活動できる空間は広く取れているので、活発に元気よく動けるように整理整頓をし、配慮している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・特別な事案等や必要な場合は、個室での療育が行えるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	6		・出勤時間帯の相違や送迎に時間を要する場合も多いので、広く職員が参加できる時間の確保に努めます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・職員のメンタル面についても配慮され、業務に差し支えの無いようにフォローして、業務改善を目指している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	6		・今後は、OJTの機会を増やし、また、研修会などにも参加によるOff-JTの機会を設ける予定です。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・作成、公表を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	・子どもの様子を報告、保護者様より、聞き取りを行いその上で、適宜、支援計画の作成を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			・今後は、「地域連携」についても強みとなるよう構築をしていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1		・職員のスキルアップにより、多種の立案できるように職員の自己研鑽に励みます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・季節により、イベントを開催しながら、四季を感じるプログラムなども行うようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・その日の子どもの状況により、個別・集団活動の時間帯を変更したり、多くの子どもたちが参加できるように変化を加えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	7		出勤時間帯が、まちまちなので、今後、グループＬＩＮＥ等を活用し連携を深めるように努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・連絡帳には、詳細に記録し、日々の支援の反省や改善点の参考として位置づけとし、検証している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		・定期的なモニタリングを行いながら、支援計画の見直しを判断し、保護者様にも報告をしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・地域が広範囲によるが、様々な地域の特性を知りながら、情報共有しています。	・この業務について、浅い職員のいるため今後の構築に努力します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		・タイミング等を勘案しながら、適宜行えるように対応しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	6		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	2	6		・今後、連携を深めるため積極的に参画して、スーパーバイザーの意見・助言を得ながら、事業所の強みを作っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		・地域の中で、子どもたちが活動できる機会を増やすべく連携体制を試みていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6		・保護者様の中には、他の保護者様との交流を好まない方もいらっしゃり、少し躊躇している面があったが、今後は工夫をし機会を作る予定です。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・日常の変化のある行動などに気が付けば、報告を行い、家庭での変化が無いか確認もしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・お仕事をされている時間帯以外に保護者様の都合の良い時間帯の希望を伺い調整し、ご意向を聞けるように調整している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	8		・今回の改正点の説明を行い、支援内容に同意いただけるか、話し合いを重ねました。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		8		・問35と同様に保護者で集まる場に出ることを苦痛に思われている方もいらっしゃるので、それも配慮しながら、支援体制を模索・構築していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		・職員全体に周知するように、送迎時などにお伺いしたときにお聞きしたことは、速やかに報告し、迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・定期的な声掛け等により、悩み事が無いかの確認をさせて戴いています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・個人情報は、常に慎重に取り扱うよう事務室内で閲覧し、閲覧後はすぐに元の場所に直すように周知いている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		・その子どもの特性を踏まえ、保護者様の目線に立った対応や、また、ここちらで得た情報をお伝えしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		・開所後(令和6年2月)、まだ、地域住民の招待を行っていないので、実行に向けて招待の時期・方法を考えていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	・子どもの利用日に応じて、実施回数を今後、増やしていく予定です。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	・子どもの利用日に応じて、実施回数を今後、増やしていく予定です。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			・不知の職員に対して、周知に努めます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			・安全管理は行い、措置も講じているが、職員の入退職に応じて、必要な研修の機会も増やしていくようにしたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		・その都度、職員に周知し、話し合っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			・今後、研修の機会を増やしていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	1		・今現在、対象の児童はおりませんが、職員には、その場に対応できるように周知を心がけます。